



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ
コード番号 2461 URL <http://www.fancs.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳澤 安慶
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 杉山 紳一郎

TEL 03-5766-3530

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	15,248	53.2	2,800	66.8	2,828	64.7	1,741	66.4
25年12月期第2四半期	9,955	55.7	1,679	83.0	1,716	81.7	1,046	19.7

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 1,748百万円 (63.7%) 25年12月期第2四半期 1,067百万円 (20.0%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期第2四半期	22.69	22.32		
25年12月期第2四半期	13.88	13.63		

平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
26年12月期第2四半期	15,589	9,948	63.2	127.73				
25年12月期	13,660	8,665	62.9	112.35				

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 9,855百万円 25年12月期 8,587百万円

平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	14.00	14.00
26年12月期	—	—	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年12月期(予想)の内訳 普通配当 9円00銭 記念配当 5円00銭(市場変更記念2円50銭、創業15周年記念2円50銭)
当社は平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割しております。このため、平成26年12月期(予想)における期末配当金については、当該分割後の数値で算定しております。なお、当該分割を考慮しない場合の平成26年12月期(予想)の期末配当金は28円となります。

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
通期	31,148	37.1	5,700	39.8	5,748	39.3	3,561	38.9	46.27	46.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。当連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期2Q	77,158,308 株	25年12月期	87,826,400 株
② 期末自己株式数	26年12月期2Q	576 株	25年12月期	11,391,292 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期2Q	76,765,681 株	25年12月期2Q	75,415,306 株

平成25年10月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割、平成26年4月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行いました。前連結会計年度期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数、期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想数値に関する事項は添付資料の3ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に、輸出の回復や個人消費の持ち直しにより景気回復の兆しがみられました。一方、一部商品について消費税の駆け込み需要の反動減や海外の新興国の成長鈍化などの不安定要素もあり、景気の見通しは先行き不透明な状態で推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社グループの主要事業であるインターネットマーケティングサービス分野では、スマートフォンやタブレット端末などの普及や高速データ通信環境の整備が進み、消費者がインターネット及びスマートフォンアプリを利用する時間がますます広がりを見せております。また、リアルタイムで広告掲載の入札を行うターゲティング広告など新たな広告配信技術により、企業によるインターネット及びスマートフォンアプリを活用したマーケティングへの取り組みは今後さらに拡大してくるものと予測されます。

当第2四半期連結累計期間は、スマートフォンの普及を背景にスマートフォン経由の広告収入の拡大により売上高が増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、15,248,598千円(前年同期比153.2%)となりました。また、営業利益は、2,800,586千円(前年同期比166.8%)、経常利益は2,828,031千円(前年同期比164.7%)となり、四半期純利益は1,741,860千円(前年同期比166.4%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① パソコン向けアフィリエイト広告サービス

主力サービスでありますアフィリエイト広告サービスのうちパソコン向けアフィリエイト広告サービス「エーハチネット」を提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、各種キャンペーンや広告主に向けて費用対効果を高めるコンサルティング活動を行いました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,444,777千円(前年同期比127.1%)、全社費用控除前の営業利益は1,643,301千円(前年同期比123.1%)となりました。

② モバイル向けアフィリエイト広告サービス

主力サービスでありますアフィリエイト広告サービスのうちモバイル向けアフィリエイト広告サービス「モバハチネット」及びスマートフォン向け広告サービス「ネンド」等を提供しております。当第2四半期連結累計期間においては、既存の営業活動や新たな広告枠の開発を行い、特にネンドの売上が順調に推移しました。さらに、リアルタイムに広告配信を最適化する広告配信プラットフォーム「nex8(ネックスエイト)」をリリースしました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,450,252千円(前年同期比193.7%)、全社費用控除前の営業利益は1,651,214千円(前年同期比213.2%)となりました。

③ 自社媒体事業

広告収入を収益モデルとした自社媒体の運営を行っております。当第2四半期連結累計期間においては、組織再編によって自社媒体を集約し、媒体価値や販売力の強化を実施してきましたが、業績にはまだ寄与しない状況で推移しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は192,598千円(前年同期比73.5%)、全社費用控除前の営業損失は19,261千円(前年同期の営業損失は16,062千円)となりました。

④ その他

他社媒体広告販売等を展開しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は160,969千円(前年同期比62.4%)、全社費用控除前の営業利益は19,895千円(前年同期比210.3%)となりました。

○ 報告セグメント別の売上高の内訳

セグメントの名称	平成25年12月期第2四半期		平成26年12月期第2四半期		平成25年12月期	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
パソコン向けアフィリエイト広告サービス	5,072,629	51.0	6,444,777	42.3	10,806,735	47.6
モバイル向けアフィリエイト広告サービス	4,362,508	43.8	8,450,252	55.4	10,936,761	48.1
自社媒体事業	262,165	2.6	192,598	1.3	495,694	2.2
その他	258,007	2.6	160,969	1.0	482,054	2.1
総売上高	9,955,311	100.0	15,248,598	100.0	22,721,246	100.0

なお、主力サービスであるアフィリエイト広告サービスにおける事業年度末(当第2四半期末)の利用広告主数(稼働広告主ID数)、参加メディア数(登録パートナーサイト数)は、下記のとおりであります。

サービス	区分	平成26年12月期 第2四半期末	平成25年12月期末
パソコン向け アフィリエイト広告サービス 「エーハチネット」	稼働広告主ID数	2,594	2,469
	登録パートナーサイト数	1,677,815	1,559,613
モバイル向け アフィリエイト広告サービス 「モバハチネット」及び「ネンド」	稼働広告主ID数	1,524	1,441
	登録パートナーサイト数	430,681	345,988
当社 アフィリエイト広告サービス 合計	稼働広告主ID数	4,118	3,910
	登録パートナーサイト数	2,108,496	1,905,601

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

(総資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における総資産は15,589,887千円となり、前連結会計年度末に比べ1,929,368千円増加いたしました。主な増加要因は、現金及び預金が7,211,462千円(前連結会計年度末は5,620,946千円)と1,590,516千円増加したこと、売掛金が3,784,644千円(前連結会計年度末は3,278,350千円)と506,293千円増加したことによるものであります。

(負債)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における負債は5,641,173千円となり、前連結会計年度末に比べ646,630千円増加いたしました。主な増加要因は、買掛金が3,606,842千円(前連結会計年度末は2,965,192千円)と641,649千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末における純資産は9,948,713千円となり、前連結会計年度末に比べ1,282,737千円増加いたしました。主な増加要因は、配当金の支払いにより535,045千円減少した一方、四半期純利益を1,741,860千円計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末から現金及び現金同等物に係る換算差額も加え1,590,516千円増加し7,211,462千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,859,820千円の収入(前年同四半期は1,037,751千円の収入)となりました。これは、主に法人税等の支払額が1,129,334千円であった一方、税金等調整前四半期純利益を2,828,396千円計上したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、150,518千円の収入(前年同四半期は198,788千円の支出)となりました。これは、主に投資有価証券の取得による支出が1,297,102千円であった一方、投資有価証券の償還による収入が1,400,000千円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、407,639千円の支出(前年同四半期は151,876千円の支出)となりました。これは、主に株式の発行による収入が49,933千円であった一方、配当金の支払額が459,168千円であったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月1日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,620,946	7,211,462
売掛金	3,278,350	3,784,644
有価証券	1,495,722	1,404,737
その他	235,357	292,819
貸倒引当金	△20,223	△17,672
流動資産合計	10,610,153	12,675,990
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	108,144	107,686
減価償却累計額	△24,905	△30,168
建物及び構築物(純額)	83,238	77,518
工具、器具及び備品	212,553	233,881
減価償却累計額	△142,188	△158,107
工具、器具及び備品(純額)	70,365	75,773
リース資産	7,891	7,891
減価償却累計額	△7,891	△7,891
リース資産(純額)	—	—
有形固定資産合計	153,603	153,292
無形固定資産		
のれん	32,295	26,703
その他	102,751	143,603
無形固定資産合計	135,046	170,307
投資その他の資産		
投資有価証券	2,321,658	2,219,185
その他	465,712	374,805
貸倒引当金	△25,656	△3,695
投資その他の資産合計	2,761,714	2,590,296
固定資産合計	3,050,365	2,913,896
資産合計	13,660,518	15,589,887

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,965,192	3,606,842
未払法人税等	1,147,651	1,077,764
賞与引当金	109,185	112,345
ポイント引当金	154,637	146,384
その他	470,534	546,495
流動負債合計	4,847,201	5,489,832
固定負債		
長期預り保証金	147,341	151,341
固定負債合計	147,341	151,341
負債合計	4,994,543	5,641,173
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,045,385	1,078,053
資本剰余金	1,297,335	182,753
利益剰余金	7,758,443	8,590,200
自己株式	△1,514,658	△1,068
株主資本合計	8,586,504	9,849,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	623	5,669
その他の包括利益累計額合計	623	5,669
新株予約権	74,258	83,942
少数株主持分	4,588	9,163
純資産合計	8,665,975	9,948,713
負債純資産合計	13,660,518	15,589,887

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	9,955,311	15,248,598
売上原価	6,739,736	10,365,902
売上総利益	3,215,575	4,882,695
販売費及び一般管理費	1,536,178	2,082,109
営業利益	1,679,397	2,800,586
営業外収益		
受取利息	25,434	23,189
受取配当金	1,039	1,019
投資有価証券売却益	11,019	966
デリバティブ評価益	—	11,021
その他	703	4,817
営業外収益合計	38,197	41,014
営業外費用		
株式交付費	407	342
為替差損	—	12,869
その他	607	358
営業外費用合計	1,014	13,569
経常利益	1,716,579	2,828,031
特別利益		
新株予約権戻入益	3,942	605
特別利益合計	3,942	605
特別損失		
関係会社株式売却損	—	240
特別損失合計	—	240
税金等調整前四半期純利益	1,720,521	2,828,396
法人税、住民税及び事業税	674,740	1,067,316
法人税等調整額	△2,121	15,008
法人税等合計	672,619	1,082,325
少数株主損益調整前四半期純利益	1,047,902	1,746,071
少数株主利益	1,077	4,211
四半期純利益	1,046,824	1,741,860

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,047,902	1,746,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,800	5,045
持分変動差額	—	△3,101
その他の包括利益合計	19,800	1,943
四半期包括利益	1,067,703	1,748,015
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,066,625	1,743,804
少数株主に係る四半期包括利益	1,077	4,211

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,720,521	2,828,396
減価償却費	42,490	46,737
株式報酬費用	10,145	25,205
のれん償却額	5,591	5,150
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,469	△29,395
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,388	3,160
ポイント引当金の増減額(△は減少)	3,096	△8,253
受取利息及び受取配当金	△26,473	△24,209
新株予約権戻入益	△3,942	△605
投資有価証券売却損益(△は益)	△11,019	△966
デリバティブ評価損益(△は益)	—	△11,021
売上債権の増減額(△は増加)	△671,267	△484,332
仕入債務の増減額(△は減少)	546,023	641,649
預り保証金の増減額(△は減少)	1,822	4,000
為替差損益(△は益)	—	12,183
その他	△26,426	△41,611
小計	1,603,420	2,966,088
利息及び配当金の受取額	17,695	23,067
法人税等の支払額	△583,364	△1,129,334
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,037,751	1,859,820
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47,201	△31,387
無形固定資産の取得による支出	△13,182	△60,710
投資有価証券の取得による支出	△1,566,836	△1,297,102
投資有価証券の売却による収入	368,712	94,535
投資有価証券の償還による収入	1,090,000	1,400,000
関係会社株式の売却による収入	—	50,000
子会社株式の取得による支出	—	△4,816
敷金及び保証金の差入による支出	△28,338	—
その他	△1,942	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△198,788	150,518
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	85,129	49,933
自己株式の取得による支出	—	△1,068
少数株主からの払込みによる収入	—	2,520
配当金の支払額	△237,005	△459,168
その他	—	144
財務活動によるキャッシュ・フロー	△151,876	△407,639
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△12,183
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	687,086	1,590,516
現金及び現金同等物の期首残高	3,817,626	5,620,946
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,504,712	7,211,462

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年2月14日開催の取締役会決議に基づき、平成26年3月31日付で自己株式5,695,646株の消却を実施いたしました。この結果、第1四半期連結累計期間において自己株式が1,514,658千円、資本剰余金が1,147,250千円及び利益剰余金が367,408千円減少いたしました。また、当第2四半期連結累計期間における新株予約権の行使に伴う新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ32,668千円増加しております。これにより、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が△1,068千円、資本剰余金が182,753千円、利益剰余金が8,590,200千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パソコン向け アフィリエイト 広告サービス	モバイル 向けアフィリエイト 広告サービス	自社媒体 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,072,629	4,362,508	262,165	9,697,303	258,007	9,955,311	—	9,955,311
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	12,893	16,594	26,023	55,511	646	56,158	△56,158	—
計	5,085,522	4,379,102	288,189	9,752,815	258,654	10,011,469	△56,158	9,955,311
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	1,335,467	774,322	△16,062	2,093,726	9,459	2,103,186	△423,789	1,679,397

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社媒体広告販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パソコン向 けアフィリエイト 広告 サービス	モバイル 向けアフ リエイト 広告サ ービス	自社媒体 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,444,777	8,450,252	192,598	15,087,628	160,969	15,248,598	—	15,248,598
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,398	5,176	9,081	18,656	—	18,656	△18,656	—
計	6,449,176	8,455,429	201,680	15,106,285	160,969	15,267,255	△18,656	15,248,598
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	1,643,301	1,651,214	△19,261	3,275,255	19,895	3,295,150	△494,564	2,800,586

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社媒体広告販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(ストック・オプションとしての新株予約権の発行)

当社は、平成26年6月23日開催の取締役会において、ストック・オプションとして新株予約権を有償で発行することを決議し、平成26年7月15日に発行いたしました。

(1) 新株予約権の割当ての対象者及びその人数並びに割当てる新株予約権の数

当社取締役	4名	320個
当社従業員及び子会社従業員	163名	3,026個

(2) 新株予約権の目的となる株式の種類及び数

当社普通株式 334,600株 (新株予約権1個当たりの目的となる株式数は100株)

(3) 新株予約権と引き換えに払い込む金銭

新株予約権1個当たり 1,046円

(4) 新株予約権の払込期日

平成26年7月15日

(5) 新株予約権の行使期間

平成27年4月1日から平成30年3月31日まで

(6) 新株予約権の行使時の払込金額

1株当たり 1,632円

(7) 新株予約権の行使により発生する株式の発行価額の総額及び発行価額中の資本組入額

発行価額の総額 549,567,116円

発行価額中の資本組入額 274,783,558円

(8) 新株予約権の行使の条件

- ・平成26年12月期の営業利益が55億円以上の場合割当てを受けた新株予約権の総数の1/2を行使できる。
- ・平成27年12月期の営業利益が71.5億円以上の場合割当てを受けた新株予約権の総数の1/2を行使できる。
- ・権利行使時において、当社または当社関係会社の取締役、監査役または使用人であることを要する。